

SDGsって？

SDGsは、2015年に国連で採択された、世界共通の目標のこと。今、地球上には貧困や格差、紛争、気候変動などさまざまな課題があり、「このままでは人類が地球に住み続けられない」という強い危機感から誕生しました。17の目標に取り組むことで、**未来も含めて地球上に生まれた誰もが、自分らしく、幸せに暮らし続けること**を目指しています。

SDGsで大切なのは、私たち一人一人の行動です。

大切なのは「私の」行動

今から
できることから

「私が」始める
ESD（エスディーエス）

SDGsクイズ

SDGsにつながる行動はどれ？

- 1 お店で買い物をするとき、マイバッグを持っていく
- 2 シャンプーや洗剤は、中身がなくなったら詰め替えて使う
- 3 ペットボトルを使ったら、燃えるごみではなく資源としてリサイクルする
- 4 電気はつけっぱなしにしない
- 5 できるだけ車ではなく公共交通機関や自転車、徒歩で移動する
- 6 冷蔵庫を開けたらすぐに閉める



答え「すべてつながる」

1~3はプラスチックを削減し**目標14**「海の豊かさを守ろう」の達成に、4~6は二酸化炭素（CO₂）を削減し**目標13**「気候変動に具体的な対策を」の達成につながります。

最近、よく耳にするようになった「SDGs（エスディーエス）」。「でも「何をしたらいいの？」と思う方も多いのでは。SDGsで大切なのは「私の」行動。どんなことから取り組んだらいいのか、考えてみませんか？



SDGsとは?

- Sustainable Development Goals = 持続可能な開発目標
- 2030年までに、17の目標の達成を目指す
- キーワードは「誰一人取り残さない」
- 全ての人、それぞれの立場から目標達成のために行動を変えることが求められている



宅配・店舗ではさまざまなものを資源として回収。リサイクルには「洗う」「乾かす」など組合員の協力が不可欠です



牛乳パックを再生紙として使用しているCO・OPコアノンロール。コープはこうした環境に配慮した商品の普及を目指しています

ショートムービーでSDGsを知る



SDGsは、私たちのくらしの全てでつながっています。例えばお買い物のおきにマイバッグを削っていけば、プラスチックを削減でき、SDGsの「目標14」海の豊かさを守ろう」の達成につながります。他にも、くらしの中でできることはたくさんあります。一人一人が「これってSDGs?」と考えることが、よりよい未来の実現につながります。

コープとSDGs

コープは、SDGsが生まれるずっと前から、世の中に先駆けてさまざまな取り組みを進めてきました。例えば、牛乳パック。今はリサイクルしていますが、1980年代以前はごみとして捨てていました。地球環境問題への関心が大きく高まる中、「身近なところからごみの減量に取り組もう」と、コープは組合員とともにいち早く回収・リサイクルを始めたのです。活動は広がって全国に広まり、現在はさまざまなものが資源としてリサイクル・活用されています。

コープは一人一人のくらしを大切に、互いが協力し、助け合うために生まれた組織です。だからいつの時代も、私たち、そして未来の社会がより豊かであることを目指しています。コープが果たす役割に、世界からも大きな期待が寄せられています。コープデリグループは、理念「CO・OP」ともに「くむくらしと未来」と、2025年に取りたい姿を目指す「ビジョン2025」食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ。を掲げています。この理念・ビジョンと、SDGsの目指す方向は同じ。コープデリグループは、SDGsの達成に向けて、5つの重点課題と具体的な目標

あなたは、何から始める?

SDGsの実現に貢献します。を掲げ、事業・活動を通してSDGsの達成に向けて、自分ができることを考え、行動すること。お買い物のおき、おうちで過ごすとき……一つ一つの行動を、SDGsの視点、でもう一度見直してみませんか。まずは、SDGsを知ることから。このコーナーでは、今後SDGsやコープの取り組みを、より詳しくお伝えしていきます。どうぞお楽しみに!

コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成を目指しています。

